

創立20周年記念大会盛大に

コメ消費は拡大

べんとう振興協会

日本べんとう振興協会は11月29日、栃木県のホテルエピナール那須で約90人が参加して創立20周年記念大会を盛大に開催した。



安田定明会長

安田定明会長は「92年の設立当時のコメ消費量は、会員54社で16万5000tであった。現在は24万5000tと大幅に使用量を増やしており、コンビニエンスストアの成長とともに食品産業の一翼を担って成長してきた」と、コメの消費拡大を推進する団体としての社会的使命への20年の活

動を評価した。また現在の問題として「新米移行後も米価が高値推移となつてい

る。直近の経営は収益減で厳しい状況である」と、コメの高値推移は消費減少を招く危険があると現在の状況を危惧した。

同団体は、92年に任意団体として発足した日本べんとう工業協会が前身。社団法人となることが非常に困難な小泉内閣による行財政改革真つただ中の02年、自給率アップやコメの消費拡大への貢献が認められて、最後から2番目の社団法人

として日本べんとう振興協会が誕生。11年には05年からスタートした食品微生物検査技士の資格制度が評価され、農林水産省総合食料局外食産業室管轄で初の公益社団法人となった。

8年目を迎える食品微生物検査技士資格制度は認定者を1200人以上輩出し、わが国の食中毒防止に貢献している。今年に入って市場のコメが減少した際には農水省に備蓄米の放出を申し入れ、4万t放出に奔走した。

今回の大会では、JAうつのみや北部地区カントリエレベーターの視察、トップセミナーで「24年産米の価格動向と生産流通の現場は」（八木俊明グレインスピー会長）、「日本の政治はよくなるか」（田崎史郎時事通信社解説委員）を実施し、時局に合った催しで研さんを積んだ。（福島厚子）